

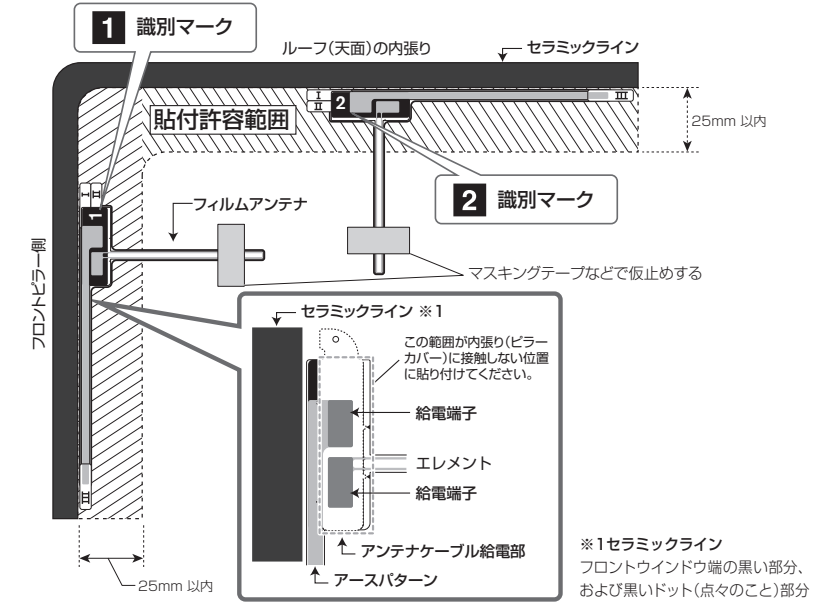
2 フィルムアンテナ・アンテナケーブル給電部の貼付位置を決める

- 1 フィルムアンテナ・アンテナケーブル給電部の貼付位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。
- 2 マスキングテープなどでフィルムアンテナおよびアンテナケーブル給電部を仮固定し、車内の内張り（フロントビラーなど）に当たらないことを確認してください。
- 3 ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

貼付許容範囲

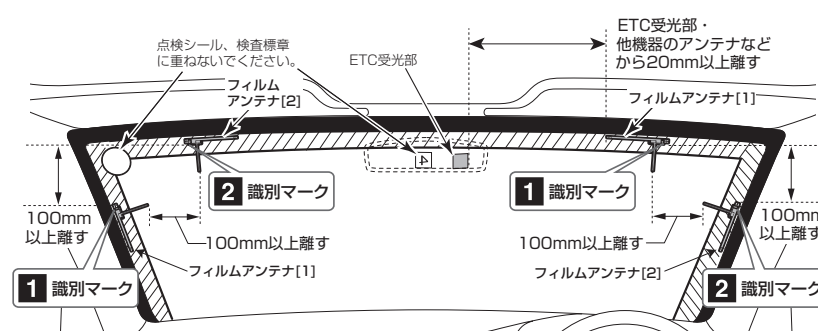
- フィルムアンテナの給電端子部およびアンテナケーブル給電部は、セラミックライン上または、内張りに重ならないように必ず貼付許容範囲内（部）に貼り付けてください。
- アースパターンは、セラミックライン上に貼り付けても問題ありません。
- 貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

- ご注意
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。



＜車室内側からフロントウインドウを見た図＞

- ご注意
- フィルムアンテナは、2種類あります。（**1**）の識別マーク、**2**の識別マーク）貼付位置を確認のうえ、間違えないよう貼り付け作業を行ってください。



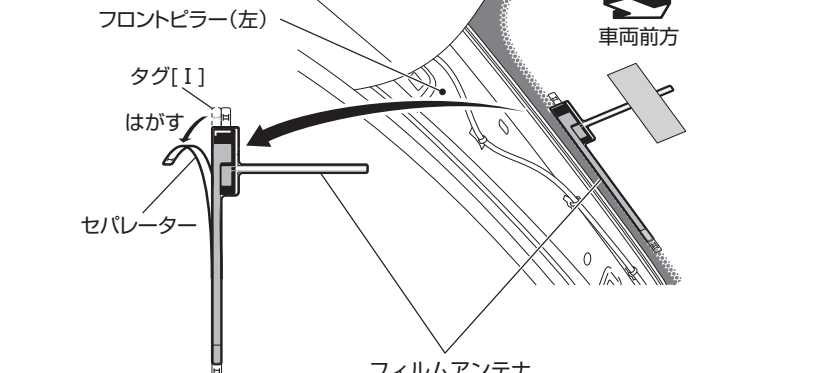
3 フィルムアンテナを貼り付ける

本紙は左側（フロントビラー）の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。

- ご注意
- アンテナの接着面に手で触れないでください。また方が触れた場合に備え、手や指の汚れを落として作業をしてください。
 - 空気が入ったり、シワが寄らないように注意してゆっくり端から貼り付けてください。
 - 貼り直しができませんので、十分注意して位置決めをしてください。

- 1 **【I】**のタグを持ち、ゆっくりとセパレーターをはがし、指定の貼付位置がずれないように貼り付けてください。

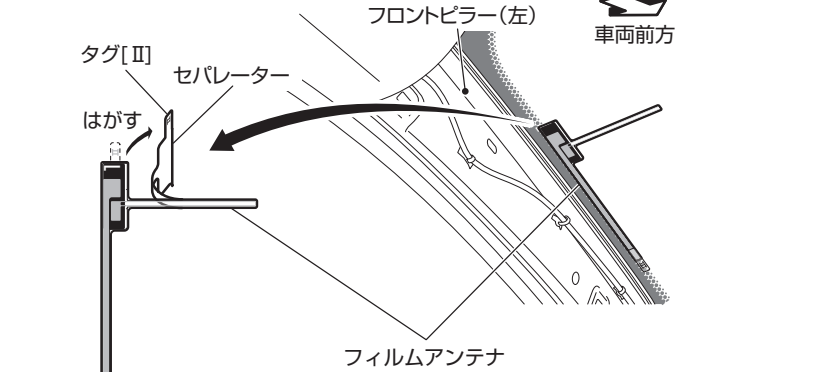
＜助手席からフロントウインドウを見た図＞



- 2 **【II】**のタグを持ち、ゆっくりとセパレーターをはがし、指定の貼付位置がずれないように貼り付けてください。

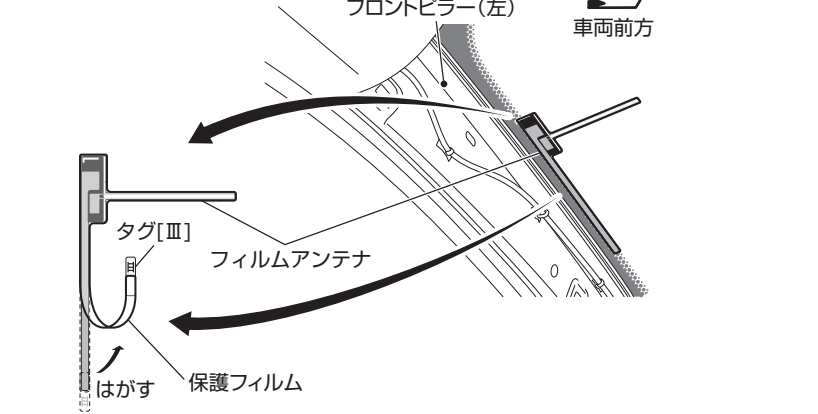
- フィルムアンテナをやわらかい布等で、こすらずに上から丁寧に押さえ、フロントウインドウに定着させてください。

＜助手席からフロントウインドウを見た図＞



- 3 **【III】**のタグを持ち、ウインドウ側にアンテナ線が残っていることを確認しながら、ゆっくりと保護フィルムをはがしてください。

＜助手席からフロントウインドウを見た図＞



- ご注意
- アンテナ線と一緒にがれてしまう場合は、保護フィルムをいったん戻し、やわらかい布等でこすらずに上から丁寧に押さえ、フロントウインドウに定着させてから再度はがしてください。

4 アンテナケーブル給電部を貼り付ける

- 1 アンテナケーブル給電部のはくり紙をはがしてください。
- 2 フィルムアンテナの▲マークとアンテナケーブル給電部の突起を合わせ、フィルムアンテナの給電端子部に貼り付けてください。

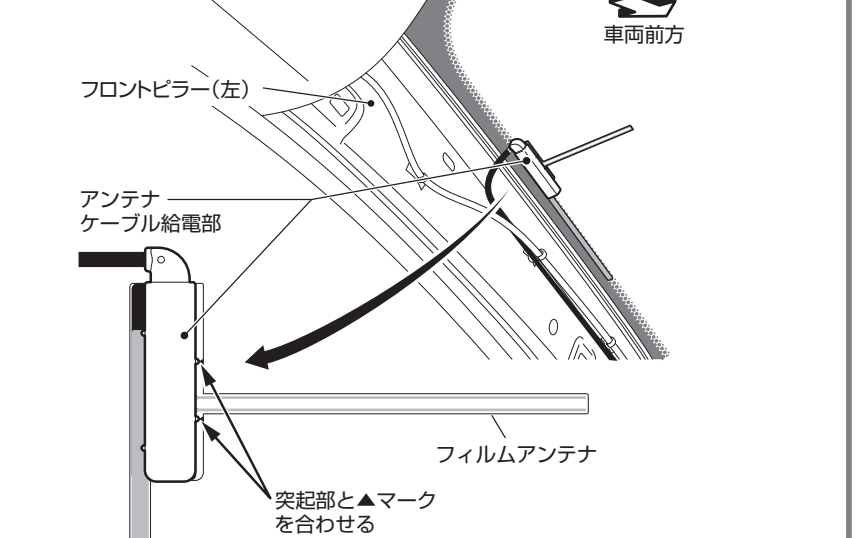
ご注意

- 給電部の裏側には、**1**、**2**のタグが付いています。フィルムアンテナ**1**には、**1**のタグが付いているアンテナケーブルを貼り付けてください。**1**、**2**を逆に貼り付けると、受信性能が低下する場合があります。
- 給電端子の方向を間違えないように貼り付けてください。

＜給電部を裏側から見た図＞



＜助手席からフロントウインドウを見た図＞



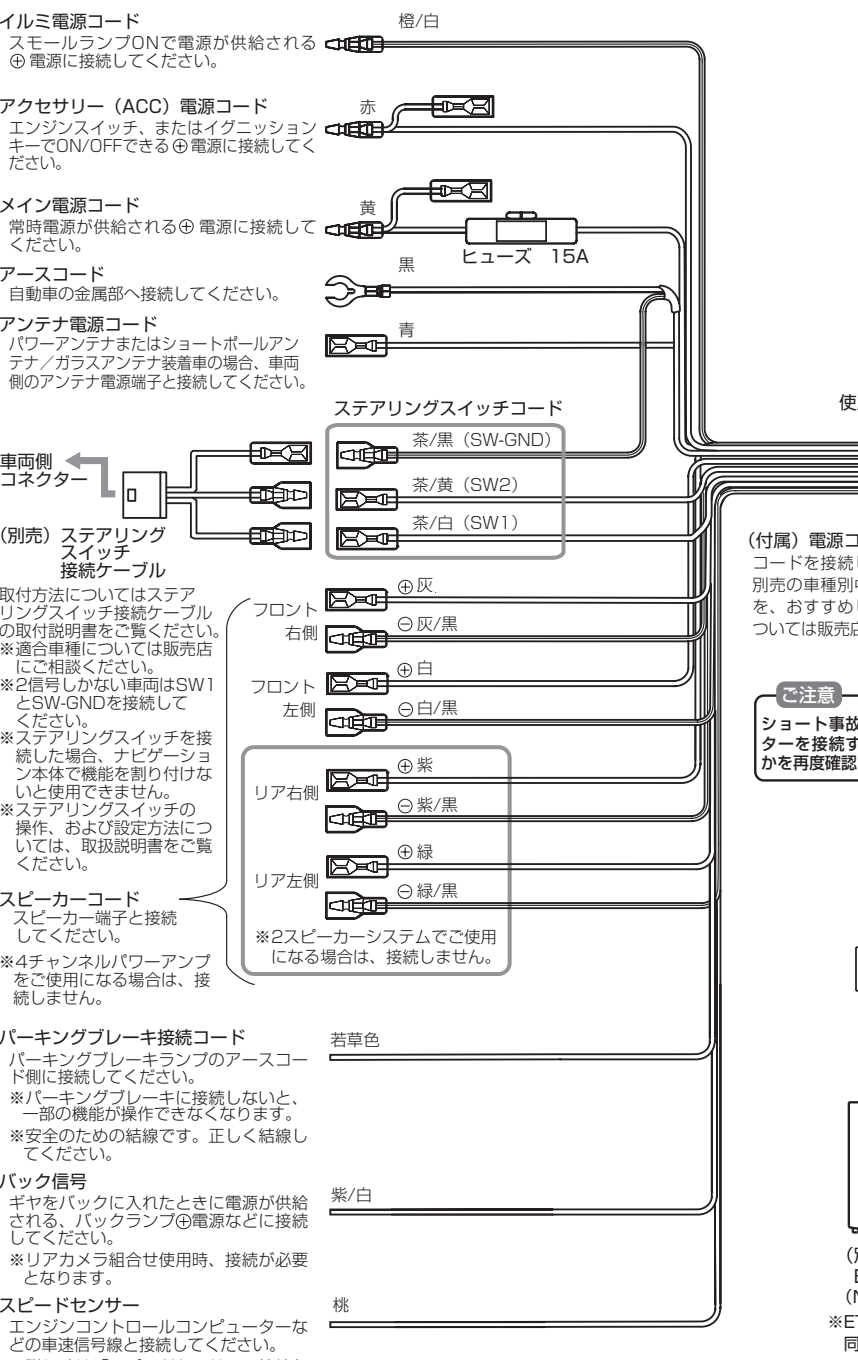
結線のしかた

警告

取り付け・配線の前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。

警告

- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。ショート事故による感電や、けたの原因となります。また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。
- メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A以上の電流容量であることをお確かめください。15A未満のときは、15A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。なお、作業は販売店に依頼してください。
- バッテリーと直接接続する場合は、容量20A以上で耐熱性を有する自動車用電源コードを使用し、必ずヒューズを装着してください。



電源およびスピーカー端子

端子の接続は、オスとメスがロックするまで差し込んでください。オス端子が右図Aタイプの場合は、メス端子のスリーブを約5mmカットしてください。

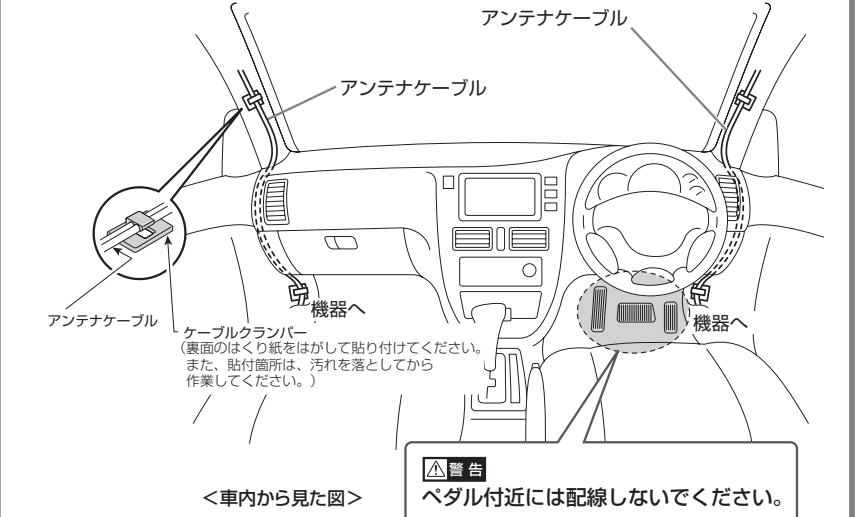
注意

- アンテナ電源コードは専用端子ですので、他の機器や手動または半手動のアンテナ装着車には接続しないでください。
- 接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。



5 アンテナケーブルを固定する

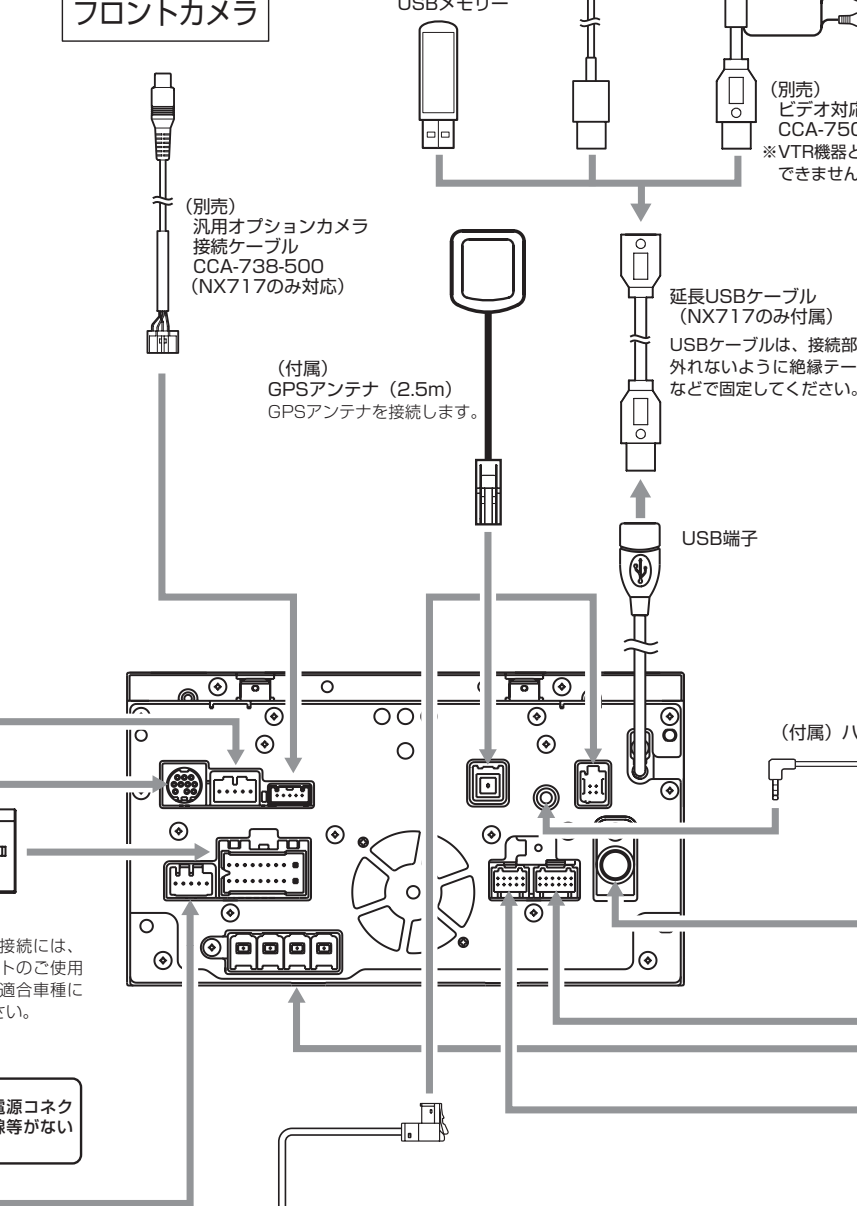
- 1 ケーブルクランプで固定しながらケーブルの配線を行ってください。
- アンテナケーブル給電部に負荷がかからないように、アンテナケーブル給電部を押さえながら作業を行ってください。



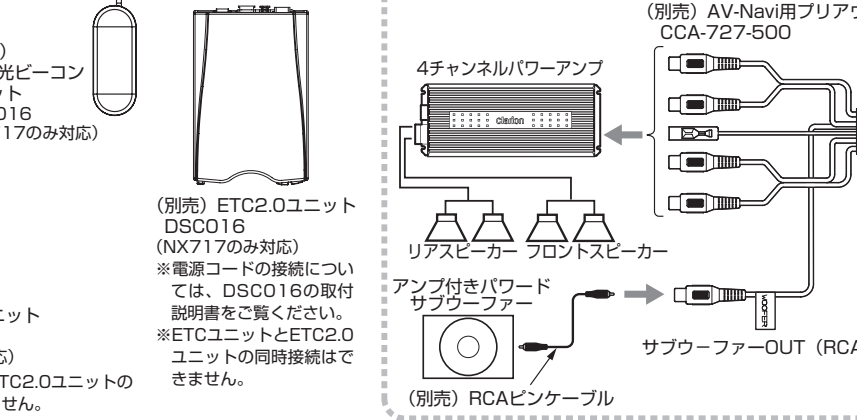
警告

- フロントビラーにエアバッグが装着された車両には、エアバッグ動作の妨げとならない位置へ配線を行ってください。
- 運転の視野を妨げないように、ケーブルを配線してください。
- ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。その際ケーブルは、曲げ部がφ14mm（曲げR7mm）以上となるようにまとめてください。
- アンテナケーブルをビラー内などに押し込む場合は、樹脂ヘラなどを使用してください。（先端部分が鋭利な工具などを用いて強い力で無理に押し込むとアンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。）

汎用サイド／フロントカメラ



サウンドシステムアップ例（NX717のみ対応）



ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

1. 本機のメイン電源コード（黄色）と接続している車側の電源コードを抜きます。
2. 結線が正しいか確認してください。
3. 確認後、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

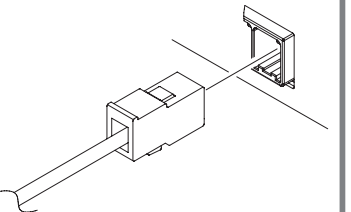


6 アンテナ端子を接続する

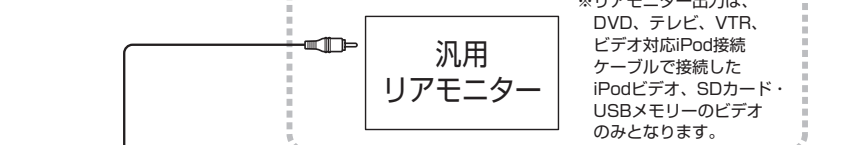
- 1 アンテナ端子を機器のTVアンテナ端子へ接続してください。
- 「結線のしかた」をご覧ください。正しい位置に接続してください。TVアンテナ入力端子はロック付きです。端子を機器から外す際は、ロック部を押しながら外してください。

ご注意

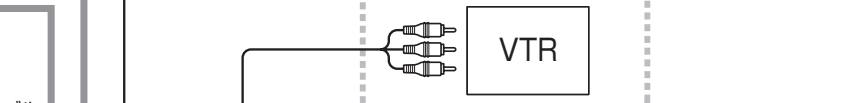
- アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
- お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかかないようにご注意ください。



リアモニター システムアップ例



外部映像出力機器 システムアップ例



ご注意

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力された場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

本機では2ZONE OUT端子は使用しません。

ラジオアンテナ入力端子

車側のメインアンテナ端子を接続します。

注意

- 車側のメインアンテナ端子を接続したときに、本体背面よりアンテナ端子が突出します。本体を車に装着する際には、アンテナ端子に他のコード類等によって力が加わらないように、スペースを空けるようお願いいたします。

パーキングブレーキ接続結線例

- 注意
- 配線コネクタを使用する場合、車側側電線の太さを十分確認のうえ接続してください。適合電線以外で使用すると接続不良や断線のおそれがあります。

接続については、販売店にご依頼、またはご相談ください。

